

成年年齢引下げ後の
成人式の開催方法について
検討結果報告書

令和3年3月

世田谷区 生活文化政策部

区民健康村・ふるさと交流課

目次

1. 成人式とは	1
2. 成年年齢引下げ（民法改正）の概要	1
3. 現行の世田谷区の成人式（新成人のつどい）	1
4. 検討のポイント	2
5. 検討の経過	2
(1) これまでの経過	2
(2) 中高生を対象にしたアンケート結果（概要）	2
(3) 中高生による成年に向けた意見交換会結果（概要）	4
(4) 世田谷区子ども・青少年協議会委員へのアンケート結果及びご意見	5
6. 区としての対応の考え方	6
(1) 成人式について	6
(2) 18歳時（成年年齢到達時）の対応について	7

1. 成人式とは

昭和 23 年に「国民の祝日に関する法律」が制定され、「成人の日」は、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」日と定められた。この際、「おとな」の年齢は明確な定義を設けないこととされた。

昭和 24 年に文部省から都道府県教育委員会あてに、各市町村と連絡を取り、「成人の日」の趣旨に則した行事を地域の実情に応じて開催することを求める通達が出され、さらに昭和 31 年にその行事の開催を促す通達が出された。これらを契機に成人式は全国の市町村で開催されるようになったと考えられる。

なお、昭和 24 年以前にも地域によっては、成年としての自覚を促す「成年式」や「成年祭」が開催されており、通達にあわせて紹介された参考事例の元になっている。

ちなみに、世田谷区においても昭和 20 年代に成年に関する行事が行われていた。（当時の広報紙で確認。）

成人式の対象年齢については、昭和 24 年の通達では、「地方の慣習を尊重して成人として自覚を持ちうる適当な年齢層を対象として」とあり、昭和 31 年の通達時には、「該当者（成人に達した者）の年齢は、現在全国的にみるとおおむね満 20 歳となっている。」と記載された。おそらく特段の規定がなかったため、民法上の成年年齢である「20 歳」を対象としたケースが多かったと考えられる。（民法は明治 29 年に制定され、20 歳を成年とすることが定められた。）

2. 成年年齢引下げ（民法改正）の概要

（1）変更点

令和 4（2022）年 4 月 1 日に「成年」とする年齢を 20 歳から 18 歳に引き下げる。

【成年年齢とは】①一人で有効な契約をすることができる年齢

②親権に服することがなくなる年齢

※あわせて「成年」と規定する他の法律も 18 歳に変更される。

（2）趣旨

憲法改正国民投票の投票権年齢や、公職選挙法の選挙権年齢などが 18 歳と定められ、国政上の重要な事項の判断に関して、18 歳、19 歳の方を大人として扱う政策が進められてきたことを踏まえ、18 歳、19 歳の若者の自己決定権を尊重し、その積極的な社会参加を促す。

3. 現行の世田谷区の成人式（新成人のつどい）

（1）目的

新成人を祝うとともに、大人としての自覚を促し未来を託す期待を伝える。

（2）対象者

当該年度に満 20 歳になる方

【令和 2 年 1 月開催実績】約 8,200 人（参加者約 3,500 人）

（3）開催日

成人の日

(4) 会場

世田谷区民会館（令和2年1月開催まで）

日本大学文理学部百周年記念館（令和3年1月開催から変更）

(5) 内容

①式典：吹奏楽演奏、式辞、祝辞、来賓紹介、有名人からのビデオレター、チア演技

②催し：記念撮影ボード、生まれた日の新聞コーナー、実行委員会PR、

着くずれ直し、生け花展示、（もち配布、お茶席、投票体験コーナー） など

※カッコ書きは、新型コロナ感染拡大防止等のため、令和3年1月では中止するもの。

4. 検討のポイント

成人式については、成年年齢が「18歳」に引き下げられることを前提としつつ、以下に示す対象者を取り巻く諸々の状況を踏まえ検討を進めた。

①多くの対象者が高校生であり、受験や就職準備に忙しい時期にあたるため、式典への参加が難しくなる。

②進学や就職等に際し出費が伴う時期と重なるため、家計への負担が大きい。

③対象年齢を引き下げた場合の初年度は、18歳から20歳までの3年齢分（約2万4千人）が対象となるため、現在の方法での会場確保は困難である。

④①の事情から実行委員の確保が難しくなる。

一方、対象を「20歳」とする場合においては、成年年齢に達する年度から2年後の成人式（新成人のつどい）となるため、目的や意義を改めて整理する必要がある。

以上の点を踏まえて対象年齢や開催時期、式典のあり方を検討する必要がある。

5. 検討の経過

(1) これまでの経過

令和2年 6月 令和2年度に15歳、16歳、17歳になる方1500名を対象にアンケート調査を実施。

8月 世田谷区子ども・青少年協議会にてアンケート結果を報告。

9月 6月のアンケート回答者を対象に意見交換会を実施。

12月 世田谷区子ども・青少年協議会委員を対象にアンケート調査を実施し、その結果を協議会にて報告。

(2) 中高生を対象にしたアンケート結果（概要）

①対象 令和2年度に15歳から17歳になる方（令和4年度に17歳から19歳になる方） 1,500名

※住民基本台帳データから各年齢で500名ずつを無作為に抽出した。（4月17日時点）

	15歳	16歳	17歳	合計
母数	6,673人	6,651人	6,679人	20,003人

②回答数 685名（回収率45.7%）

③主な調査内容と回答結果

ア) 適当と思う対象年齢

選択肢	回答数	構成比
18歳	115	16.8%
19歳	46	6.7%
20歳	517	75.5%
その他	5	0.7%
無回答	2	0.3%
合計	685	100.0%

イ) 適当と思う対象年齢を選択した理由（複数回答可）

選択肢	回答数	構成比
民法改正に合わせ、成人式の対象年齢も18歳にすべきと思うから。	107	9.0%
対象者全員が成人になっている19歳になる年に開催することが良いと思うから。	36	3.0%
今まで通りの20歳が分かりやすいから。	337	28.2%
18歳は高校生が多く、進学や就職準備に忙しいため、式典に参加できない人が多くなると思うから。	341	28.5%
飲酒や喫煙、競馬などの公営競技の年齢制限が無くなる20歳になる年に開催することが良いと思うから。	308	25.8%
その他	63	5.3%
無回答	3	0.3%
合計	1195	100.0%

ウ) 適当と思う開催時期

選択肢	回答数	構成比
4・5月（ゴールデンウィークなど）	53	7.7%
8月（お盆の時期など）	28	4.1%
1月（成人の日など）	410	59.9%
3月（春休みなど）	173	25.3%
その他の時期	16	2.3%
無回答	5	0.7%
合計	685	100.0%

エ) 成人式の必要性

選択肢	回答数	構成比
必要があると思う。	260	38.0%
必要性まではわからないが、行うことは良いと思う。	313	45.7%
必要はないと思う。	45	6.6%
わからない。	33	4.8%
無回答	34	5.0%
合計	685	100.0%

※詳細については、別資料「成人式に関するアンケート調査 結果報告書」参照。

(3) 中高生による成年に向けた意見交換会結果（概要）

①日 時 9月22日（火・祝） 午前10時から12時30分まで

②会 場 希望丘青少年交流センター（アップス）

③内 容 基調講演：テーマ 「大人になるということ」

講 師 林 大介先生（浦和大学社会学部准教授、世田谷区子ども・青少年協議会委員）

意見交換：ア) 成人式の対象年齢や開催時期、成人式に期待すること。

イ) 大人になる期待や不安

ウ) 社会参加（選挙、地域活動） など

コーディネーター：林先生

参加者：区長、新成人のつどい実行委員2名

④参加者 17名

	15歳	16歳	17歳	計
会場参加	2名	1名	5名	8名
オンライン参加	7名	1名	1名	9名
計	9名	2名	6名	17名

⑤主な意見

【20歳が良いと思う主な意見】

- ・大人になることを意識できるだけのゆとりのある時期に開催するのが良い。18歳は受験に没頭しており、参加者が集まらない。
- ・受験の終わった春休みに成人式を行うとしても浪人する人もいる。また、受験が終わってすぐ成人式では着物などの準備が追い付かない。
- ・20歳の方が、気持ちや人間関係も落ち着いてきて、ちょうど良い。
- ・今17歳だが、18歳に成人式を行うとなると、学校生活や日常生活での大人への準備をする時間があまりにも短いと感じる。準備期間が何年か必要で、20歳の方が適当。
- ・18歳のほとんどの人が高校に通っており、自分と同じ年代の狭い範囲の人しか知らないと思う。19、20歳になってたくさんの人と出会い、アルバイトや選挙など大人らしいことも経験する。成長する準備段階としてその2年間はとても大事。

- ・20歳で行う場合、成人式ではなく、「二十歳のつどい」などに変更した方が良い。
- ・18歳で開催する場合、初年度は3年分の人数が対象になり、混乱しそう。

【18歳が良いと思う主な意見】

- ・18歳で選挙に行く、国の政治に関わるという大きな責任がある。大人という意識を持って18歳で成人式を行った方が20歳とするより意味がある。
- ・自分が子どもなのか、大人なのかと、気持ちが曖昧なまま、自覚や責任を持たずに選挙に参加するのはおかしい。
- ・大学に入って成人について考えること（大人への準備期間）は大事だと思うが、成人式を迎えたから大人にならなきゃいけないのではなく、大人になるための一つのきっかけとして成人式があると思う。
- ・成人式に出席したからといって、すぐに何かが変わるわけではなく、20歳にこだわる必要はない。
- ・大人になるための準備をするために成人式があるならば、18歳で行うべき。
- ・今の幼い子たちが、将来、「18歳で成人するのに、なぜ20歳で成人式を行うのか」との疑問を抱くことになるのではないかと、法改正にあわせて18歳にした方が良い。
- ・18歳の春休みであれば受験と被らず、お酒やタバコも禁止されているため事故なくできる。

【その他】

- ・集まれるのであれば、18歳でも20歳でもどちらでも良い。

(4) 世田谷区子ども・青少年協議会委員へのアンケート結果及びご意見

①調査内容と回答結果（12月15日集計）

ア) 適当と思う対象年齢

選択肢	回答数	構成比
18歳	1	8.3%
19歳	0	0.0%
20歳	9	75.0%
その他	0	0.0%
特に意見はなく、中高生のアンケート結果を尊重する。	2	16.7%
合計	12	100.0%

イ) 適当と思う対象年齢を選択した理由（複数回答可）

選択肢	回答数	構成比
民法改正に合わせ、成人式の対象年齢も18歳にすべきと思うから。	1	3.8%
対象者全員が成人になっている19歳になる年に開催することが良いと思うから。	0	0.0%
今まで通りの20歳が分かりやすいから。	5	19.2%

表は次ページにつづく。

表は前ページからのつづき。

選択肢	回答数	構成比
18歳は高校生が多く、進学や就職準備に忙しいため、式典に参加できない人が多くなると思うから。	9	34.6%
飲酒や喫煙、競馬などの公営競技の年齢制限がなくなる20歳になる年に開催することが良いと思うから。	8	30.8%
その他	2	7.7%
特に意見はなく、中高生のアンケート結果を尊重する。	1	3.8%
合計	26	100.0%

※「その他」の意見：18歳では進学等と重なり、家計への負担が大きくなる。
成人式として行うかは検討すべき。

ウ) 適当と思う開催時期

選択肢	回答数	構成比
4・5月（ゴールデンウィークなど）	1	8.3%
8月（お盆の時期など）	0	0.0%
1月（成人の日など）	8	66.7%
3月（春休みなど）	0	0.0%
その他の時期	0	0.0%
特に意見はなく、中高生のアンケート結果を尊重する。	2	16.7%
無回答	1	8.3%
合計	12	100.0%

エ) その他の意見要旨（自由意見）

- ・開催時期はウイルスが拡散しにくい時期が良いのではないかな。
- ・分かりやすいことが大事。飲酒、法律的な責任など20歳から自覚が求められるため、対象は20歳が良い。
- ・若者の声を尊重して欲しい。20歳で行う場合は、成人式として行うことが適当か検討して欲しい。
- ・（対象年齢等は）当事者である若者の意見に任せたい。
- ・家計に厳しくなるのは避けてほしい。

6. 区としての対応の考え方

(1) 成人式について

「4. 検討のポイント」①～④の懸念事項やアンケート結果等を踏まえ、これまで同様にその年度に満20歳になる方を対象に、1月開催とする。

【理由】

- ・18歳を対象にして式典を開催する場合、進学や就職準備等で忙しい時期にあたり、対象者や家計への負担が大きくなり、参加者の減少が懸念される。

- ・アンケート結果において、「20歳」を対象に「1月（成人の日など）」に開催を希望する意見が最も多く、「18歳」を対象にした場合の影響を懸念する意見が多い。
- ・20歳は飲酒や喫煙などの年齢制限がなくなり、責任ある大人としての自覚や自立を促す良い時期と考えられる。

①実施目的

- ア) 成年に達し学生や社会人としての社会経験を踏まえ、改めて大人としての自覚・自立への理解を促すとともに、未来を託す期待を伝える。
- イ) 地域社会の一員としての自覚を促すため、地元世田谷を意識し、地域社会への参加を考える機会にする。
- ウ) 旧友と近況を語らい、今後に向かって励ましあう場を提供し、自身を見つめ直したり、決意を改める機会にする。

②名称

「二十歳のつどい」（はたちのつどい）などの名称に変更する。

③催し内容の変更案

成年年齢に達してから一定期間が経過していることを踏まえ、お祝いを中心としたものから、若者への激励や地域社会への参加を意識するものに変更していく。なお、具体的な内容については今後検討していく。

【例】

ア) 式典

- i) 若者への期待や地域社会への参加を促す内容を充実する。
 - 例) ・新たに青少年委員会会長、町会、NPO等の地域活動団体の代表者などに登壇していただき、メッセージをいただく。
 - ・歴代の実行委員長などから励ましのメッセージをいただく。
- ii) 代表者からの決意表明を行う。(数名を公募)

イ) コーナー

- i) 地域を知るコーナーの設置
 - 例) ・町会やまちづくり関連のNPO等による活動紹介
 - ・産業振興公社等による世田谷の魅力紹介（見どころや世田谷みやげの紹介）
 - ・教育委員会等による世田谷の歴史紹介（資料展示、紙芝居）
- ii) 若者支援コーナーの設置
 - 例) ・支援事業紹介、出張相談

(2) 18歳時（成年年齢到達時）の対応について

満18歳になる年度に、「成年となったことの自覚」や「法的責任、義務が生じること」など、「成年」の意味を周知啓発する取組みを行う。